



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより 1 学期終業式号
令和元年7月23日発行
<http://mikasa.maizuru.ed.jp/>



なぜ? どうして? を大切に



三笠小学校は、東舞鶴の中心地にありながら、三方を山に囲まれた自然豊かな学校です。校長室の窓からは、前庭の石や植木にかわいい野鳥がちょこんと留まっているのを見ることができ、思わず顔がほころびます。

ウグイスは、「春告げ鳥」というように、春の代名詞のような鳥です。春になると、校舎北側の山からも「ホーホケキョ」とかわい鳴き声が聞こえます。「鳴き方がだんだん様になってきたね。」と職員室で話題になったりもします。そのウグイス、季節が春から夏に移り変わり、もう夏休みに入ろうかというのに、最近また美しい鳴き声を聞くようになったのです。「あれっ、ウグイスって春に鳴く鳥じゃないの?」と、不思議に思って調べてみました。

ウグイスが鳴くのは、①メスを呼ぶため ②縄張りに他のオスが入ってこないようにするため だそうです。鳴いているのはオスだということですね。「ホーホケキョ」というのは繁殖期の鳴き方で、寒くなると地鳴きという別の鳴き方をします。ウグイスの繁殖期は長く、卵が食べられたなど繁殖がうまくいかなかったり、逆にうまくいって2回目の繁殖期を迎えたりで、夏の終わりごろまで「ホーホケキョ」と鳴くことがあるのだそうです。

調べるうちに「へえ、そうなのか。」とどんどん興味がわいてきました。と同時に、「ひょっとすると聞き逃していただけで、または鳴き声に耳を傾ける余裕が自分になかっただけで、ウグイスは去年の夏も鳴いていたのかもしれないな。」と思いました。

三笠だより 5月号に「知識の杭を打つ」というコラムを書きました。何気なく過ごしている日常の中に好奇心のタネがありますが、同じものを見聞きしていても、川の流れるに刺さった杭に物が引っかかるように、興味を持ったことがどんどん引っかかる人と、杭がなくて流れて行ってしまう人があるということです。知識の杭を打つにはどうすればよいのでしょうか。体験活動をする、いろいろな人に出会う、本を読む、旅に出るなどが思い浮かびます。会話の中で「なぜ?」「どうして?」が出てきたらチャンスです。「なんでだろうねえ。」と、いっしょに?を楽しんでみてはどうでしょうか。「ウグイスは春に鳴くもの」と私が思い込んでいたように、新しい発見に心が躍るかもしれません。

後になりましたが、この1学期、保護者の皆様、地域の皆様から、たくさんの温かいご支援・ご協力をお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

おかげさまで大きな事故もなく、子どもたちは学習に生活に、力を伸ばすことができました。本当にありがとうございました。

明日からは、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。交通事故、水の事故、不審者、熱中症などの危険から命を守ることに、学校でも指導いたしました。ご家庭、寮におかれましても、かけがえのない命を守ることに、子どもたちと話し合いご指導いただきますよう、よろしく願いいたします。



校長 小島 みどり
教職員 一同

図書館のすすめ

本が大好きで、よく図書館を利用します。好きな作家の本に偏りがちなところ、図書館では様々なテーマでコーナーが設けられており、あらたな本との出会いがあるのも楽しみの一つです。夏休み、子どもと一緒にぜひ図書館に足を運んでみてください。